

目次

- ① 第2回カタリバの開催概要
- ② 第2回カタリバの様子
- ③ グループ討議の結果
- ④ 次回の予定

北部地域活性化 カタリバ報告

Vol.2



1 第2回カタリバの開催概要

第2回ワークショップ「ビジョンを考えよう！！」を開催しました！（令和5年6月4日(日)）

- ▶会場は穂の国芸術劇場「プラット」で、13名の方に参加していただきました。
- ▶前回の現地視察を踏まえて、北部地域の将来像を考えました。
- ▶ファシリテーターとして、まちラボ有限公司の加藤武志さんをお招きしました。

ファシリテーター：TAKEZO/加藤武志さん

まちラボ有限公司代表取締役
名城大学 都市情報学部 非常勤講師

対話を通して自分たちで創造的に課題を解決する「ソーシャルデザイン(まちづくり)」に取り組む。大学講義や、自治体職員研修など講演会も多数。おもな著書に「まちのエンジン」など



2 第2回カタリバの様子

●前回の振り返り

- ▶前回の現地視察の様子を写真を見ながら振り返りました。



●ときほぐし(アイスブレイク)

- ▶「傾聴」をキーワードに、わきあいあいと関係性を築きました。



●地域の魅力・課題

- ▶「ここはイネ！」「ここはどうか？」をみんなで出し合いました。



●発表

- ▶各班の「まちづくり川柳」と川柳に乗せた想いを発表しました。

●まちづくり川柳

- ▶「こんな地域になったらイネ！」の想いを5.7.5川柳にしました。



- ▶円卓に各班で出した意見を張り出しました。

■各班のまちづくり川柳と議論内容は裏面に記載

3 グループ討議の結果

北部地域の「ここはイネ！」を青の付箋、「ここはどうか？」を赤の付箋に書き出した後、「こんな地域になったらいいナ！」を黄色付箋に書き出しました。さらに、黄色付箋に書き出した参加者の想いをまとめた「まちづくり川柳」を各班作成しました。

【A班】

ここはイネ！

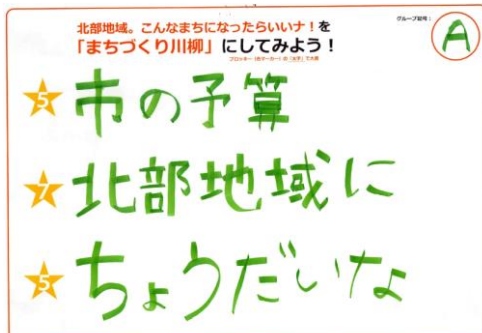
- ・自然豊かで景色が良い
- ・果実・野菜がおいしい
- ・観光のポテンシャル高い

ここはどうか？

- ・農業の担い手不足
- ・商業施設や宿がない
- ・道路の幅員が狭く街灯少ない

こんな地域になったらいいナ！

- ・農業大学・高専をつくる(若者に農業の魅力を伝える)
- ・最低限の商業施設をつくる(大企業NG)
- ・もう作れないもの(古墳や自然)を壊さない
- ・道路整備
- ・若者が定住する環境整備により高齢化と空家を解決



▶こんな地域になったらという想いを
実現させるには資金が必要！

【B班】

ここはイネ！

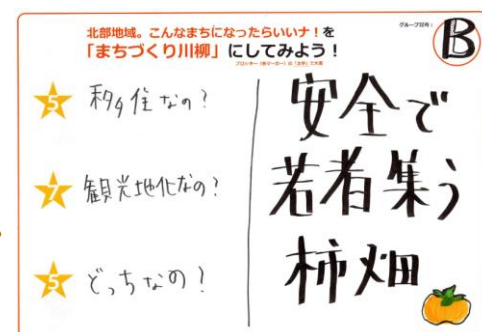
- ・農産物が豊富
- ・自然が豊か
- ・古墳等の歴史的なものがある

ここはどうか？

- ・若い人が少ない
- ・交通アクセスが悪い
- ・店舗が少ない
- ・観光資源が分かりにくい

こんな地域になったらいいナ！

- ・広大な自然を活かし、工業系土地利用を避ける
- ・歴史的な資源を看板等で周囲告知
- ・若い人が遊べるところを作り、若い人を増やす。
- ・特産品である柿栽培や収穫体験の取り組み
- ・特産品や歴史を若者に伝えて移住を図る



▶インフラ整備もしていき若者が集まるまちとしたい！

【C班】

ここはイネ！

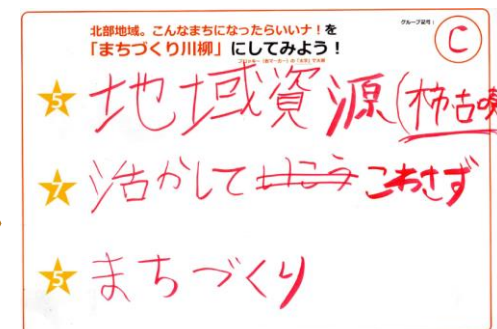
- ・山やほたるなど自然豊か
- ・歴史資源が多い
- ・新幹線駅の豊橋に近い
- ・人が優しい

ここはどうか？

- ・場所や物の知名度が低い
- ・魅力が発信できていない
- ・若い人が少ない
- ・店舗が少ない

こんな地域になったらいいナ！

- ・地域の推しポイントを今の2倍に！
- ・地域資源を活かし、看板等で周囲に告知
- ・今ある地域コミュニティが壊れないようにする
- ・生活しやすくなる商業施設を取り入れる
- ・若い人が訪れやすいまちにする



▶静かで自然豊かな北部地域は壊さず
活性化していきたい！

4 次回の予定

次回のテーマは「施設や取り組みを考えよう！！」です。今回考えたまちの将来像を実現させるための必要な施設や取り組み、その優先順位を考えます！

お問合せ

豊橋市 建設部 道路建設課 七原

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地 東館6階

電話(0532)51-2501 ✉hokubupj@city.toyohashi.lg.jp